

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却について

設備造作、建物附属設備、什器備品およびソフトウェア…定額法による減価償却を実施している。

(2) 引当金の計上基準について

退職給付引当金…期末退職給与の自己都合要支給額に相当する金額を計上している。

(3) 消費税等の会計処理について

消費税等の会計処理は税込み方式を採用している。

2 特定資産の増減額およびその残高

特定資産の増減額およびその残高は次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
退職給付引当資産	33,836,790	4,233,060	0	38,069,850
合 計	33,836,790	4,233,060	0	38,069,850

3 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
退職給付引当資産	38,069,850	0	0	(38,069,850)
合 計	38,069,850	0	0	(38,069,850)

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額および当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額および当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
設備造作	5,184,490	1,898,475	3,286,015
建物附属設備	1,478,814	660,540	818,274
什器備品	3,348,104	2,790,770	557,334
ソフトウェア	8,227,120	1,909,885	6,317,235
合 計	18,238,528	7,259,670	10,978,858